

様

平成27年度
循環型社会形成推進交付金に関する要望書



平成26年5月

北 海 道
北 海 道 市 長 会
北 海 道 町 村 会

廃棄物処理施設は、廃棄物の再資源化、適正処理を積極的に推進し、循環型社会の形成を図っていく上で必要不可欠なものであり、地域におけるごみ処理に支障を来すことがないように、円滑な整備を着実に進めていく必要がありますが、本道は、積雪寒冷地であることに加え、広大な面積を有していることから、廃棄物の広域的な処理体制の構築が困難な場合があるなど、他都府県にはない課題があります。

また、生活排水処理対策を推進するに当たっても、広大な面積を有する本道の、人口密度が低い地域での下水道による集合処理は、経済面・効率面で不利であり、浄化槽による整備を一層推進していく必要があります。

平成26年度における循環型社会形成推進交付金の本道への予算額については、地元要望額25億6千万円に対する不足額分について、平成25年度補正予算の一部が平成26年度事業前倒し分として充当されたことから満額を確保するに至りましたが、平成27年度の要望においても引き続き同額程度の要望額が見込まれており、当初予算での必要額の確保に不安が生じている状況にあります。

つきましては、道内市町村等の地元要望額にできる限り添えるよう、平成27年度における必要な予算の確保について、強く要望いたします。

北海道知事	高橋はるみ
北海道市長会長	石狩市長 田岡克介
北海道町村会長	乙部町長 寺島光一郎

1 要望事項

地元要望額を満たす平成 26 年度循環型社会形成推進交付金における当初予算の確保

■平成 26 年度予算額の状況 [表 1]

総 額	当初予算額	補正額
25.58 億円	13 億円	12.58 億円

<実施事業数>

廃棄物処理施設：15 市町村等 25 事業（新規 4・継続 21）
 浄化槽：89 市町村 89 事業（新規 10・継続 79）

■平成 27 年度地元要望額 [表 2]

地元要望額(北海道分)	うち廃棄物処理施設	うち浄化槽
24.29 億円	22.24 億円	1.87 億円

<要望事業数>

廃棄物処理施設：16 市町村等 23 事業（新規 4・継続 19）
 浄化槽：96 市町村 96 事業（新規 0・継続 96）

2 要望に関する背景

- (1) 廃棄物の広域的な処理体制の構築には、広大な面積を有し、かつ、積雪寒冷地である北海道の地域特性から、他都府県にはない課題がある
- (2) 人口密度が低い地域での下水道等の集合処理は、経済面・効率面で不利であることから、浄化槽の整備促進が必要である
- (3) 平成 26 年度の交付金については、表 1 のとおり地元要望額に対して、当初予算額は約 13 億円で、地元要望額の 25 億 6 千万円に対して、12 億 6 千万円不足していたが、25 年度補正により、12 億 6 千万円が平成 26 年度前倒しとして充当されたことから、平成 26 年度は満額措置された。
- (4) 平成 27 年度の地元要望額は、24.29 億円であり、平成 26 年度の当初予算と同等の措置がされたとしても約 12 億円が不足し、交付金要望額が満額交付されないことから、市町村の財政を圧迫する事態となる。

■ 循環型社会形成推進交付金に係る予算額等の状況（道内分）

